

日本コンクリート工学会四国支部 研究委員会
「四国における新設コンクリート構造物の品質確保の実践に関する研究委員会」
第2回全体委員会 議事録（簡易版、公開）

日 時：2018年9月10日 14:00~17:10

場 所：高松市ヨット競技場 2階 大会議室

出 席：林委員長，岡崎幹事長，渡邊委員，横田（昭）委員，横田（昌）委員，合歓垣委員，
藤井委員，荻田委員，黒岩委員，金滝オブザーバー，高野オブザーバー，石井オブ
ザーバー，朝倉オブザーバー

議事録：岡崎

議 事：

1. 委員長挨拶（林）

林委員長より，委員会の開会にあたっての挨拶がなされた。

豪雨の影響により急きょ欠席の委員もいらしたが，今回より四国地方整備局や県，コンサル
タントよりオブザーバーに出席いただいたことに関する謝意が述べられた。新設構造物
に対する品質確保は，構造性能を向上させるものではないものの，耐久的なコンクリート構
造物を建設できるようになれば，LCC が低減し，それが新たな現場への投資という好循環
につながるものと確信しているとの旨が述べられた。

また，コンクリートの議論からは少し遠ざかるが，本委員会で業界の担い手の確保や，工
事の省力化に関する議論にまで踏み込みたい，従来のやり方を変えるという部分で衝突は
避けられないかもしれないが，結局，枠組みを変えていけるのは，地方からという信念のも
と，本研究委員会を進めて参りたいという趣旨が述べられた。

2. 委員自己紹介

出席した委員全員より，自己紹介がなされた。

3. 前回議事録の確認

岡崎幹事長より，前回議事録の確認が行われた。軽微な修正を施すことを前提に，以外は
承認された。

4. 品質確保の定義・ひび割れにまつわるマネジメント（土木学会 229 委員会）の紹介

林委員長より，資料 2-4-1 に基づいて，コンクリート構造物に求められる品質および品質
確保の定義と，マネジメントに関する説明がなされた。耐久性については，従来よりひび割
れに関する議論を中心に行われてきたが，今後は密実性評価も課題であり，今後どのように
マネジメントするべきか，について説明された。

5. 初期品質が耐久性の及ぼす影響に関する議論

林委員長より、資料2-6-1、2-6-2に基づいて、新潟県内におけるコンクリート構造物の早期劣化に関する報告と、初期欠陥に関する統計分析に関する報告がなされた。新しい情報は、入手次第随時報告することが述べられた。

6. 各分野での品質確保の取り組みの事例の検討

委員長より、各分野での品質確保の取り組みの事例を収集したいということが述べられ、資料2-9-1の記載について、お願いがなされた。品質確保のための取り組みの提案にあたって、四国で特別なツールをつくる必要はないものの、例えば、四国地整の香川-徳島間の新猪ノ鼻トンネルにおいて佐藤工業が行っているトンネルの覆工コンクリートの施工状況チェックシートは非常に参考になるのではないかとということが述べられた。

7. その他

岡崎幹事長より、品質確保に関するイベントの内容が紹介された。

また、四国におけるコンクリート構造物の品質確保アンケートの記載について、改めてメールにて各委員・オブザーバーにお願いすることが述べられた。

以上